

今年10月に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会。広報かのかでは「目指せ全共!! 行こうよ全共へ 鹿児島全共」と題して短期連載を行います。

# 目指せ全共!! 行こうよ全共へ

# 鹿児島全共

## 第12回 全国和牛能力共進会鹿児島大会

### 第12回全共鹿児島大会の出品区分

部門	種目	生後月齢	頭数
種牛 (16頭)	若雄	15～23か月未満	2
	若雌の1	14～17か月未満	2
	若雌の2	17～20か月未満	2
	繁殖雌牛群	3頭以上産んでおり、分娩の間隔が400日以内(3頭1組)	3
	高等登録群	直系3代(母牛、娘牛、孫娘牛)の3頭1組	3
肉牛 (7頭)	総合評価群	17～24か月齢未満	4
	総合評価群		3
	脂肪の質評価群	24か月未満	3
	去勢肥育牛		1
農業高校等(1頭)	農業高校等	14～20か月未満	1
県出品頭数 合計			24

**全国和牛能力共進会とは**  
 日本全国の優秀な和牛が集結し、改良の成果や優秀性を競う「全国和牛能力共進会(通称…全共)」。5年に1度開かれ、和牛のオリンピックとも呼ばれるこの大会では、種牛(雄牛・雌牛)の容姿の良さを審査する『種牛の部』と、肉質を審査する『肉牛の部』が行われます。  
 全共で優秀な成績を残すことは、地域の和牛ブランド力の大きな向上につながることから、和牛農家や関係者は大会に向けて育成に取り組んでいます。

**地元で開催!**  
**鹿児島全共!**  
 昭和41年に全共の第1回大会が岡山県で開催されました。12回目を数える今大会は鹿児島県で行われます。鹿児島県代表は、前回の平成29年の宮城県大会で団体優勝を勝ち取っており、地元で行われる今大会では連覇の期待が高まっています。  
 現在、各地区で予選会が実施されており、これを突破した牛が8月に開催される県最終予選に進出。さらにこれを勝ち残った牛が全共へ出場できます。



▲5月16日に行われた肝属地区全共第1次予選会

昭和45年第2回大会は鹿児島で開催されました。全共が同一都道府県で2回実施されるのは鹿児島県が初!



第12回全共鹿児島大会マスコットキャラクターかごうしまマ

## 目指せ日本一! 鹿屋農業高校!



自分たちの牛の魅力を最大限に引き出し、県代表を目指します。全共をきっかけにして鹿児島黒牛の良さを全国に知ってほしいです。



あまご号  
 よこがわ じゅんや 横川 純也 さん (3年生)

今回の全共から、特別区として「高校及び農業高等学校の部」が新設されました。これに伴い、鹿屋農業高校では畜産同好会を中心に2頭の出品牛の育成に励んでいます。鹿児島県から特別区に出場できるのは1頭。市民の皆さんも地元高校生の取り組みを応援しましょう!



えいけ号  
 もりもと はるや 森元 陽哉 さん (1年生)

県内外の農業高校がよい牛を育てていますが、自分たちも負けられないように仕上げていきたいです。



鹿屋農業高校畜産同好会